

北の子

浜岡北小学校だより 令和2年度3月号

＜学校教育目標＞

「たくましさ」と「思いやり」で未来をつくる子

＜重点目標＞

進んで関わり 認め合う子

感謝・希望

1月6日から始まった、本年度最後の第4ステージ「感謝・希望」でめざす子どもの姿は、「1年間の成長を支えた人との関わりについて感謝の気持ちを伝えるとともに、希望を抱いてさらに成長しようと努力する子」です。1年間「よいこと日記」や「根っこ花カード」などの取組で周りの人のよさを見つける活動を通して、感謝の気持ちも育ってきました。例えば2年生の深間愛未さんは、「ありがとうの花束をつくらう」というプリントに以下のような感謝の言葉を書きました。

- ・お母さんへ「いつもおいしいご飯を作ってくれてありがとう。」
- ・お父さんへ「いつも優しくしてくれてありがとう。」
- ・お婆ちゃんへ「いつも学校に行くバスに乗るとき、一緒に横断歩道を渡ってくれてありがとう。」
- ・Aさん（級友）へ「一緒にいっぱい遊んでくれてありがとう。」
- ・Bさん（級友）へ「算数でわからないとき、お助けしてくれてありがとう。」
- ・Cさん（級友）へ「国語で私が困っているとき、お助けしてくれてありがとう。」
- ・D先生へ「いつも勉強をわかりやすく教えてくれてありがとう。」
- ・E先生（支援員）へ「私が授業でわからないとき、教えてくれてありがとう。」



このような感謝の気持ちを大切にしている人は、楽しく充実した生活を送ることができます。また、周りの人の支えを糧に困難を乗り越えていくこともできます。



第4ステージでは、運営委員会が中心になって、感謝の気持ちを誰にどのような方法で伝えるのかということについて、全校で話し合っただけでなく、また、学校のリーダーとして活躍している6年生に対しては、5年生がリーダーシップを発揮して3月2日に全校で「6年生ありがとうの会」を行いました。心を込めた出し物やプレゼントなどで感謝の気持ちを伝え、6年生に喜んでもらうことができました。さらに、子どもたちがお世話になった方々から学んだことや感謝の気持ちを自分の成長に生かしていこうと努力し続けることを期待しています。

本年度は終始、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた1年間でした。大変なことも多くありましたが、保護者や地域の皆様の御協力・御支援のお陰で様々な困難を乗り越え、『「たくましさ」と「思いやり」で未来をつくる子』という学校教育目標に向かって大きく成長しました。心から感謝申し上げます。

キャリアパスポートで未来をつくる

将来に向けて長い目で子どもを導くことの重要性を踏まえて、文部科学省ではキャリア教育を推進しています。その方策の一つとして、子どもたちが小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる活動について記入しファイルに綴じる「キャリアパスポート」があります。このファイルを高等学校まで継続して使用していくことで振り返りと将来の見通し＝キャリア形成につなげていきます。



本校では、3月1日に1年間の振り返りをしました。その結果の一部をまとめたので、紹介します。

◆「よくできた」「できた」「あまりできなかった」「できなかった」の中の上位2段階を選んだ割合

| | |
|---|-------|
| ① 自分の気持ちを、友達にわかりやすく伝えることができましたか | 79.1% |
| ② クラスや友達のために、進んで行動したり、協力したりできましたか | 86.2% |
| ③ 調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで先生に質問したり、本で調べたりできましたか | 77.0% |
| ④ 将来の夢や目標に向かって頑張ったり、勉強のやり方を工夫したりできましたか | 80.2% |

このようなキャリア教育の取組も学校教育目標にある言葉「未来をつくる子」につながると考えています。

(校長 北原 弘明)